

※本資料は2021年3月6日時点のものとなります

獣医疫学会のご紹介 および入会のご案内



獣医疫学会

The Japan Society of Veterinary Epidemiology

獣疫学会の概要

【沿革】

前身の「獣医統計利用研究会（1974年に創立）」を経て、1997年4月4日に「獣疫学会」として設立。現在の会員303名。

【目的】

獣医学とその関連領域における獣疫学の研究・教育の進展と普及を目的とした活動を行う

【主な活動内容】

1. 学術集会、シンポジウム、講演会を年1回以上開催
2. 機関誌「獣疫学雑誌」を年2回発行
3. 獣疫学会のHPにおいて、会員相互間の情報交換を行うとともに、機関誌文献、疫学情報のデータベース化を推進
4. 海外の獣疫学関係の学会、集会および研究者等と積極的に交流
5. その他、会員の要望に応じた疫学ワークショップの開催やデータ解析相談なども随時実施



獣疫学会

The Japan Society of Veterinary Epidemiology

会員の特典

- 学術集会やシンポジウムの参加費が無料
- 機関雑誌（獣医疫学雑誌）を年2回送付&掲載料が無料
- メルマガ（獣医疫学情報）を定期的に配信
- 獣医疫学会主催ワークショップの参加費の減額



獣医疫学会

The Japan Society of Veterinary Epidemiology

会員の特典

- 学術集会やシンポジウムの参加費が無料
- 機関雑誌（獣医疫学雑誌）を年2回送付&掲載料が無料
- メルマガ（獣医疫学情報）を定期的に配信
- 獣医疫学会主催ワークショップの参加費の減額

【近年の学術集会の開催実績および一般演題のテーマ】

- 1997年より、ほぼ毎年、年に2回開催（春および秋に開催）
- 一般演題のテーマの概要
 - 家畜衛生：疾病の疫学調査（CSF、ASF、PED、BLV、BVD、BRDCなど）、薬剤耐性菌の調査 など
 - 公衆衛生：食鳥処理データの活用、狂犬病の予測モデル、ノロウイルスの伝播 など
 - その他：ペット保険データを活用した解析、SFTSVリスク調査 など

【近年開催したシンポジウムのテーマ】

- 家畜衛生関係：重要疾病（口蹄疫、狂犬病、BSE）の世界情勢、家畜と野生動物、蚊が媒介する感染症 など
- その他：ジビエ利用の課題、獣医疫学からの新型コロナの影響、小動物の疫学、獣医疫学と経済 など

※シンポジウムは今後もWeb配信する可能性あり、但し今後は会員限定になる予定

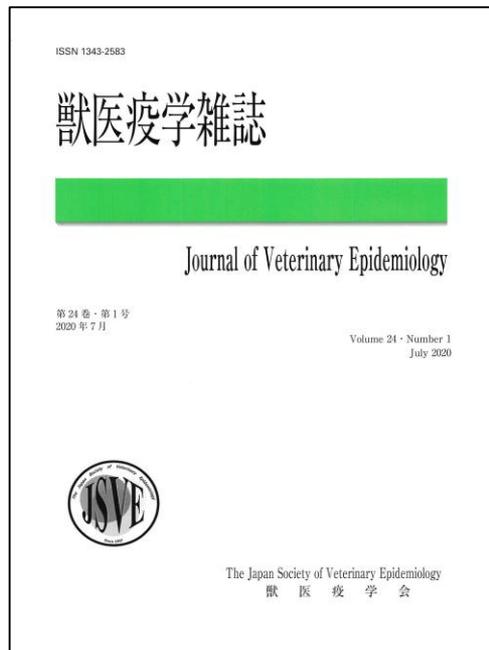


獣医疫学会

The Japan Society of Veterinary Epidemiology

会員の特典

- 学術集会やシンポジウムの参加費が無料
- 機関雑誌（獣医疫学雑誌）を年2回送付&掲載料が無料
- メルマガ（獣医疫学情報）を定期的に配信
- 獣医疫学会主催ワークショップの参加費の減額



【掲載内容】

- 原著論文（英文・和文両方を掲載、テーマは多種多様）
- 解説（各号において話題となるテーマを解説）
 - 新型コロナウイルス感染症の疫学的解析の解説
 - 回帰分析を用いた疫学データの解析の解説 など
- トピック（各号において話題となるテーマを解説）
 - 野鳥における鳥フルサーベイランスの現状と課題
 - 家畜疾病の名称変更に関して など
- 論文/書籍紹介
 - 近年科学雑誌に掲載された論文の紹介（和訳した概要）
 - 獣医疫学分野において有用な書籍の紹介

※会員は投稿論文の掲載料が無料



獣医疫学会

The Japan Society of Veterinary Epidemiology

会員の特典

- 学術集会やシンポジウムの参加費が無料
- 機関雑誌（獣医疫学雑誌）を年2回送付&掲載料が無料
- メルマガ（獣医疫学情報）を定期的に配信
- 獣医疫学会主催ワークショップの参加費の減額

【獣医疫学情報】

- 家畜衛生、食品衛生、感染症、野生動物関係に関して、週に1回配信
- 緊急性の高い情報は随時緊急配信（CSFや鳥フル発生情報など）
- 情報ソースは公的機関の発表、情報のソース元もURLで表示
- 最近では新型コロナ関連の情報も配信

獣医疫学情報 2021年2月17日 配信

【食中毒情報】

○川越市(2月14):医大施設内の飲食店で職員32人がノロウイルス食中毒

○新潟県(2月10日):小千谷市の幼稚園での食事で園児ら12人がカンピロバクター食中毒
<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/seikatueisei/20210210campylo.html>

○和歌山市(2月9日):知人からもらったフグを自宅で調理し1名がフグ毒(テトロドトキシン)食中毒
http://www.city.wakayama.wakayama.jp/res/projects/default_project/page/001/033/787/20210209-3.pdf

○大阪市(2月11日):飲食店が漂白剤入り水を提供で2人が次亜塩素酸ナトリウム食中毒
<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000527025.html>

【鳥インフルエンザ関係】

○国内 野鳥における鳥インフルエンザ

・環境省(2/15):新潟県の死亡野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルス確定検査陽性について(野鳥国内48例目)

新潟県新潟市で、2月8日(月)に回収された死亡野鳥(マガモ1羽)から高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N8亜型)検出
<http://www.env.go.jp/press/109178.html>

○海外における鳥インフルエンザ

・OIE情報(2/12):【即時通報】ポーランドにおける家きん以外の高病原性鳥インフルエンザ(H5N3)

1月31日、西ポモージェ県でキンクロハジロ1件発生

https://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?page_refer=MapFullEventReport&reportid=38213

・OIE情報(2/12):【即時通報】エストニアにおける家きん以外の高病原性鳥インフルエンザ(H5N8)

2月9日、コブハクチョウ1件発生

https://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?page_refer=MapFullEventReport&reportid=38221

・OIE情報(2/15):ラトビアにおける家きん以外の高病原性鳥インフルエンザ(H5N8) Follow-up report No. 1

2月12日、ユールマラで新たにコブハクチョウ、ヒドリガモ3件発生

https://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?page_refer=MapFullEventReport&reportid=38228



会員の特典

- 学術集会やシンポジウムの参加費が無料
- 機関雑誌（獣医疫学雑誌）を年2回送付&掲載料が無料
- メルマガ（獣医疫学情報）を定期的に配信
- 獣医疫学会主催ワークショップの参加費の減額

【近年開催したワークショップのテーマ】

- 疫学調査の考え方と実施上の注意点
- ソフトウェアを用いたデータ解析の基礎
- サンプリング計画の立て方
- Q-GISを使った地図作成と疾病クラスター検出
- 産業動物の生産現場から得られるデータの解析
- 人獣共通感染症の疫学研究の基礎および実践 など



※WS時に、ご自身がお持ちのデータの解析方法に関する相談も受け付けています



獣医疫学会

The Japan Society of Veterinary Epidemiology

入会条件および入会方法

- 入会条件：会費を納入された方は誰でも入会可能
- 入会の方法
 1. 必要情報（氏名、所属先、連絡先など）を記入いただき、
獣疫学会事務局宛にメールしていただく
※獣疫学会事務局のメールアドレスはHPに記載されています
 2. 事務局より案内がありますので、会費を指定口座に納入
- 会費
 - 入会金：不要です
 - 年会費：正会員4,000円 学生会員1,000円 賛助会員10,000円/口

多くの皆様のご入会を心よりお待ちしております



獣疫学会

The Japan Society of Veterinary Epidemiology